

平成 28 年 3 月 16 日

各 位

東京都目黒区大橋一丁目 5 番 1 号
株 式 会 社 S J I
代表取締役社長 牛 雨
(J A S D A Q : 2 3 1 5)
問合せ先: 取締役 矢沼 克則
TEL 03-5657-3000 (代表)

株式会社フィスコ・コインへの資本参加のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、株式会社フィスコ（以下、「フィスコ」といいます。）が設立し、ビットコイン取引所の運営事業等、仮想通貨ワンストップサービスを行う株式会社フィスコ・コイン（以下、「フィスコ・コイン」といいます。）への資本参加を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 資本参加の目的

先般、ビットコインといった仮想通貨の規制などを盛り込んだ法律の改正案が閣議決定されました。法改正で仮想通貨が「貨幣」の機能を持つと認定されることで、決済手段や法定通貨との交換に使えることが正式に位置付けられます。

仮想通貨はこれまで政府内に監督官庁が存在しておらず「モノ」として取り扱われておりましたが、今後は金融庁が監督官庁となり、その取引所は登録制に移行し、ますます法整備が進むことによって、業界全体が大きく成長するとフィスコのアナリストは分析しています。

当社は現在、フィンテック分野を戦略的注力領域と位置付け、その中でも特に重要な要因としてブロックチェーン技術に注目してまいりました。金融機関の預金口座管理をモデルにしたブロックチェーン技術を用いたフィンテックの実証実験など、すでにいくつかの取り組みに着手しておりますが、この度、ブロックチェーン技術のそのものとも言えるビットコイン事業に直接参画することになります。

当社は環境変化の機運をとらえ、フィンテック戦略を推進するシステム開発事業者の立場から、当社の親会社であるフィスコが設立する仮想通貨ワンストップサービスを行うフィスコ・コインへ資本参加いたします。具体的な時期は未定であります。フィスコ・コインは、ビットコイン取引所の基本機能の提供開始を目指して準備を進めてまいります。また、将来的には仮想通貨を利用した金融派生商品の開発やその運用、仮想通貨を利用した社債発行等のB2Bサービス、クラウドファンディング等のB2Cサービスなどのサービスの提供を目指してまいります。

また、フィスコ・コインは、そのシステムサービスプラットフォームを第三者へ販売することも、その事業内容に据えておりますが、当社は、これら事業にかかるシステム開発を担うことを目指し、今後ますますフィンテック戦略を推進してまいります。

2. 株式会社フィスコ・コイン概要（予定）

(1) 名称	株式会社フィスコ・コイン（英文名称：FISCO COIN LTD.）		
(2) 所在地	大阪府岸和田市荒木町二丁目18番15号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 俵 健太郎		
(4) 事業内容	・ 仮想通貨の取引所運営 -ビットコイン -アルトコイン ・ 仮想通貨の仲介 ・ 仮想通貨のファイナンス ・ 仮想通貨を利用した金融派生商品の開発・運用 ・ 仮想通貨の取引所運営に関するシステムの開発・販売およびコンサルティング ・ その他の仮想通貨の一般サービス		
(5) 設立年月日（予定）	平成28年4月1日		
(6) 資本金	60百万円		
(7) 出資者および出資金額	株式会社フィスコ		30百万円
	SEQUEDGE INTERNATIONAL LIMITED		20百万円
	株式会社ネクスグループ		5百万円
	当社		5百万円
(8) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	5百万円の出資を予定しております。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	

2. 今後の見通し

フィスコ・コインへの出資による、当社の当期連結業績に与える影響はございません。今後、システム開発の受注により、当社の業績に影響を与える見込みが生じた場合には、別途開示させていただきます。

以 上

（参考）

平成 28 年 10 月期（平成 27 年 11 月 1 日～平成 28 年 10 月 31 日）連結業績予想（平成 27 年 12 月 21 日付公表）および前期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 10 月 31 日）実績

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
通期予想	6,300	424	371	377
前期実績※ （平成 27 年 10 月期）	4,126	△265	△552	△6,060

※平成 27 年 10 月期は、決算期の変更により平成 27 年 4 月 1 日から平成 27 年 10 月 31 日までの 7 ヶ月間となっております。